

開館日カレンダー 2025年4月～9月までの予定

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■ 休館日 ■ 特集展示「こんな人形、集めました!—西澤笛畝の人形コレクション選 II—」 ■ 企画展「にんぱく動物園 (仮)」
■ 展示室 1・2 (常設展) のみ開室 ■ 常設展展示解説 午後 2 時～ ※申込不要、要観覧券 ■ 特集展示関連イベント
◆ 5月1日「さいたま市民の日」は、観覧料無料

これからの展覧会

企画展「にんぱく動物園 (仮)」
2025 年 7 月 19 日 (土) — 9 月 7 日 (日)

古くから私たち人間の暮らしと密接に関係し、親しまれてきた動物たち。その姿かたちは人形として表されるようになります。本展では、そのような動物をモチーフにした人形に着目し、そのかわいらしい姿を紹介します。



毛植人形 犬 江戸～明治時代

特別展「“人形のまち 岩槻” の歴史 (仮)」
2025 年 10 月 4 日 (土) — 11 月 30 日 (日)

岩槻区のさいたま市編入 20 周年を記念し、“人形のまち 岩槻”の歴史を紹介します。地域に根付いた人形作りに関する伝承を検証しながら、その実像をひもといていく、岩槻の人形史をテーマとする初めての展覧会です。



岩槻の雛人形 個人蔵

【にぎわい交流館いわつき】

博物館に隣接する、にぎわい交流館いわつきでは、体験講座やイベント、カフェ・ショップでの食事や買物をお楽しみいただけます。(Tel.048-757-2981 / Fax.048-793-4074)

※イベント等の詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://www.nigiwai-koryukan.jp/>



■ 基本情報 ■
【開館時間】 午前9時～午後5時
※入館は閉館時刻の30分前まで
【休館日】 月曜日 (休日の場合は開館)
年末年始 (12月28日～1月4日)
※臨時に休館・開館することがあります。
【観覧料】 一般: 300円 (団体: 200円)
高校生・大学生・65歳以上: 150円 (団体: 100円)
小学生・中学生: 100円 (団体: 50円)
※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。
※団体は20名以上。
※展覧会により観覧料が異なる場合があります。
※掲載資料のうち、特に表記がないものはさいたま市岩槻人形博物館蔵です。



Instagramで情報発信しています!

〒339-0057
埼玉県さいたま市岩槻区本町 6-1-1
Tel.048-749-0222 Fax. 048-749-0225
<https://ningyo-muse.jp/>
IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS Vol.09
2025年3月発行 編集・発行: さいたま市岩槻人形博物館

※このリーフレットは25,000部作成し、1部あたりの印刷経費は約17円です。

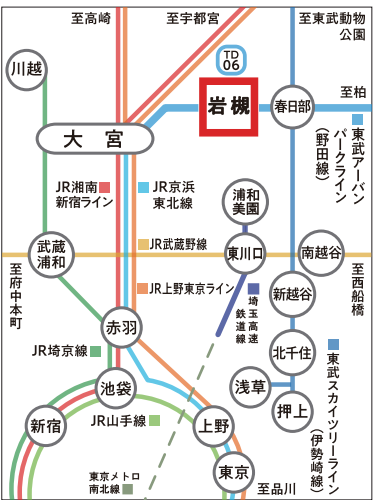


◎交通案内

【電車をご利用の場合】 東武アーバンパークライン (野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分
※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。

【車をご利用の場合】 東北自動車道「岩槻 IC」出口から約5.5km、車で約12分

※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。



「矢の根」 久保佐四郎 昭和時代

特集

特集展示「こんな人形、集めました! —西澤笛畝の人形コレクション選 II—」

Contents

特集展示「こんな人形、集めました!—西澤笛畝の人形コレクション選 II—」／常設展 Close-up／イベント Information／学芸員の研究ノート第9回「技術が途絶えてしまった人形!? —毛植人形—」／開館日カレンダー／これからの展覧会



特集

特集展示

「こんな人形、集めました！—西澤笛畝の人形コレクション選Ⅱ—」

2025年4月26日(土) — 6月29日(日)／展示室3

さいたま市岩槻人形博物館では、大正・昭和の日本画家で、人形玩具研究家・収集家でもあった西澤^{にしざわ}笛^{てき}畝^ほ(1889～1965)の集めた約3,500点に上る人形等を所蔵しています。笛畝コレクションは、江戸時代に作られた雛人形や御所人形など、古典様式の人形を多く含み、日本有数の人形コレクションとして知られています。一方で、笛畝は日本や世界各地で作られた珍しい人形も数多く収集しました。

本展は、そんな笛畝が集めたバラエティ豊かな人形・玩具を紹介する展覧会の第2弾。今回は、初公開資料を中心に、日本各地で古くから作られ、庶民に親しまれてきた郷土玩具や、海を渡って集めた中国やタイのユニークな人形、南洋の国々で作られた異国情緒あふれる希少な人形などを紹介します。また、笛畝が日本画家として、自ら収集したコレクションを描いた「人形玩具絵」も展示します。

ぜひこの機会に、西澤笛畝およびそのコレクションの多彩な世界をお楽しみください。

《休館日》 月曜日(5月5日(月・祝)は開館) ※5月1日(木)は、さいたま市民の日につき観覧料無料。

《関連イベント》

① ボランティアによる展示解説(常設展)

日時：5月3日(土・祝)、4日(日・祝)、5日(月・祝) いずれも午後2時～(20分程度)
内容：当館ボランティアが西澤笛畝コレクションを中心に常設展示を解説します。

② 特集展示オリジナル缶バッジ作り

日時：5月4日(日・祝)、5日(月・祝)／いずれも午前10時～午後3時、先着100名(1人1個) 会場：当館ロビー
内容：特集展示出品資料のなかからお気に入りの人形を選んで缶バッジを作ります。
※いずれも申込不要。①は展示室前、②はロビーにお集まりください(①は要観覧券)。



見どころ紹介 ぜひを見てください！

世にも珍しい、「人形玩具絵」!? 日本画家・西澤笛畝の試み



西澤笛畝

人形玩具研究家・西澤笛畝(1889～1965)の本職は、日本画家です。明治38年(1905)頃に、花鳥画の大家・荒木寛^{かん}畝^ほに弟子入りし、大正4年(1915)に第9回文部省美術展覧会に初入選、以後、官展画家として大正・昭和の画壇で活躍しました。

そのなかで、笛畝は昭和初年頃から人形・玩具を主題とする展覧会作品を制作していきます。昭和11

年(1936)の文展招待展では日本とタイの人形・玩具を描いた作品を出品し、政府買い上げの榮譽に浴しました。この頃から笛畝は「人形玩具絵」という言葉を積極的に使い始め、日本画の新しいジャンルとして取り組みはじめました。

本展では、笛畝が描いた「人形玩具絵」のうち、昭和25年(1950)の第6回日本美術展覧会(日展)に出品された「蒐集」を展示します。その名の通り、自ら集めた南方や東南アジアの人形・玩具に、ハイビスカスなどの鮮やかな草花が添えられ、画面には色彩の美とともに人形・玩具のユニークで和やかな表現が広がっています。世にも珍しい、笛畝の「人形玩具絵」。そのモチーフとなった人形玩具とともに展示します。必見です！



「蒐集」 西澤笛畝 昭和25年(1950)

常設展

Close-up

展示室2「コレクション展示 日本の人形」は定期的に展示替えを行っています。5,500件以上の所蔵資料のなかから、当館を代表する名品や季節にちなんだ作品を随時展示していますので、ぜひご覧ください。

加茂人形 五人囃子

江戸時代

展示室2

2025年5月20日(火)～10月下旬(予定)

加茂人形は木目込の技法が用いられ、顔や手足などには胡粉を塗らず、木地を活かした素朴な味わいが魅力です。本作は袈裟を身に着けた五人囃子が楽しそうに演奏する姿で、丸い顔立ちがかわいらしい。観ている方も思わず笑みがこぼれます。



「助六」 岡本玉水

昭和37～38年(1962～1963)

展示室2

2025年7月8日(火)～9月21日(日)

御所人形の作家として知られる岡本玉水(1898～1972)による助六の人形。昭和37年(1962)の十一代目市川團十郎の襲名記念に際して制作されたものです。鉢巻、印籠、尺八、傘などの小物のほか、衣装に描かれた金色の海老にもご注目ください。本作の箱蓋裏に書かれた十一代目団十郎直筆の句も公開！



イベント

Information

■開館5周年記念コレクションカード

開館5周年を記念して、さいたま市岩槻人形博物館オリジナルコレクションカードを配布しています。犬笛や裸童など、当館の名品から選ばれた8つの人形たちが可愛いカードになりました。カードには、人形ごとにチャームポイントが記載されています。もしかしたらあなたの「推し人形」が見つかるかも？

コレクションカードの中には、通常のカードとは異なるホログラム加工された希少性の高いレアカード(絵柄は通常のカードと同じ)が封入されています。

期間：2025年1月25日(土)から第1弾(4種類)を配布中。

第2弾(4種類)は2025年8月頃配布開始予定。決まり次第ホームページでお知らせします。

対象：当館の常設展、展覧会をご観覧された方。

※ランダム配布のため、カードの絵柄は選ばません。

※おひとり様1日1枚まで。無くなり次第終了。

〈第1弾〉



〈第2弾〉



第9回 学芸員の研究ノート

技術が途絶えてしまった人形!? —毛植人形—

昨今の「猫ブーム」。テレビやSNSで猫を題材としたものがよく登場するなど、そのかわいらしさや自由奔放な姿が人気を博しています。このようにかわいらしいものに癒しを求め、愛でることは昔からおこなわれており、その姿かたちは、人形としても表現されました。ここでは、猫をモチーフにした人形を紹介したいと思います。

写真1は、猫の毛植人形です。毛植人形は、染めた絹糸を張子の胴体に貼り付け、動物のふさふさとした毛並みを表現した人形です。猫は古来より、鼠から食料を守る存在として、人間と生活を共にしており、江戸時代には庶民が鼠駆除のために猫を飼うようになりました。本資料は、飼い猫のアイコンである赤い前掛けをしている猫が、一点をじっと見つめ、踏み出す瞬間を見計らっているところでしょうか。首を傾げる猫のリアルな仕草が表現されています。

毛植人形は、主に京で作られ、有名店として「並河人形店(屋号：けう系や)」があります。明治9年(1876)に開催されたフィラデル

フィア万国博覧会では、日本からの出品物の一つとして展示されるなど、諸外国に輸出されていたようですが、動物の毛並みをリアルに表現するその製作技法は、昭和初期に「並河人形店」が閉店すると、途絶えてしまいました。そのため、どのように作られたのかなど分からないことも多く、調査を続けていく必要のある人形です。本資料を含む毛植人形は、今年夏に開催する企画展で紹介する予定です。ぜひそのかわいらしい姿を会場でご覧ください。(学芸員 矢島璃子)



写真1 毛植人形 猫 江戸～明治時代



写真2 「並河人形店(屋号：けう系や)」の商標 毛植人形 虎(明治37年(1904)当館蔵)の箱蓋裏上部に「□人形禽獣絲植細工製作所」とある。